



開拓

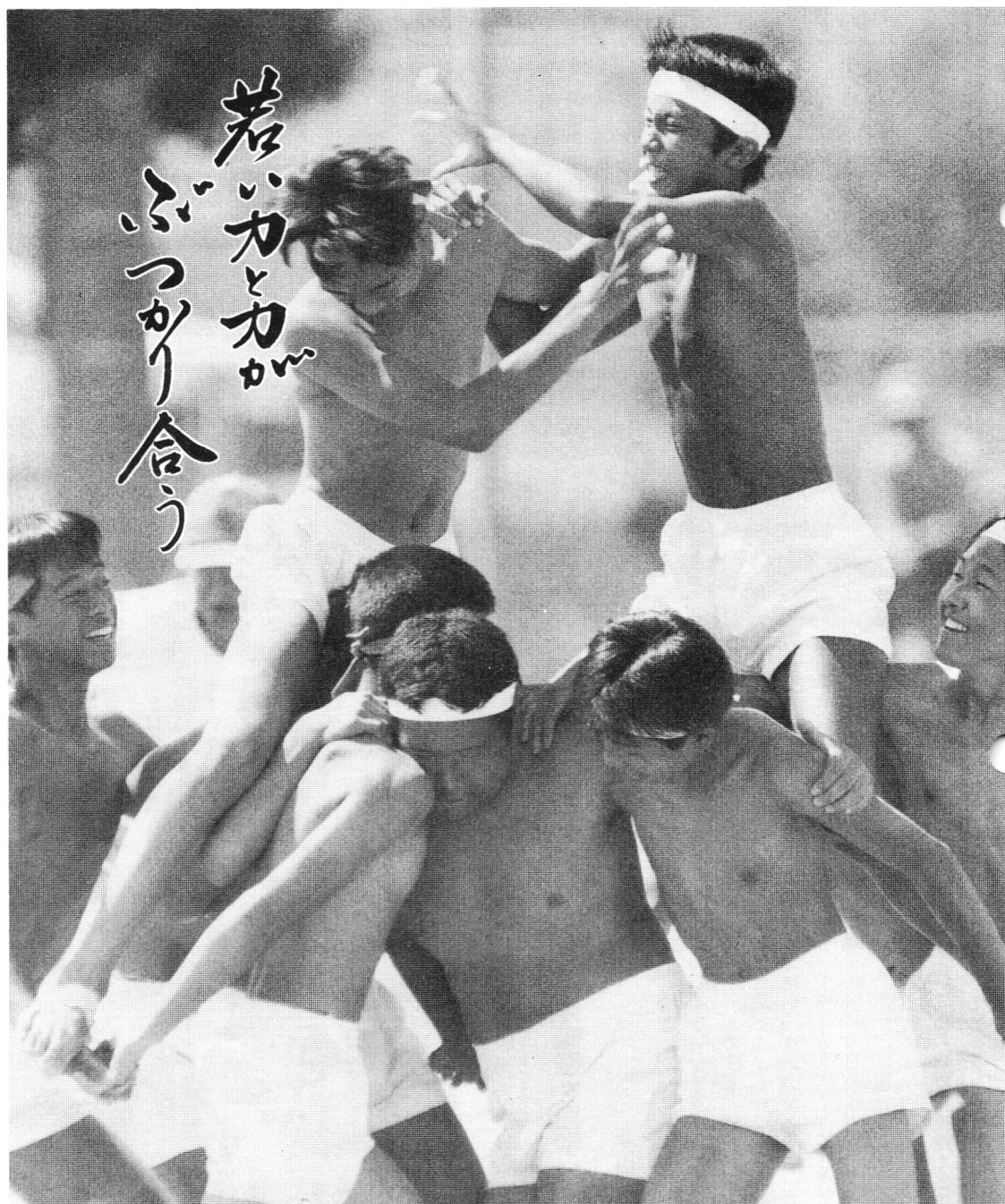
編 集 発 行

安八郡輪之内中学校

PTA 会報委員会

題 字 江 木 洋 治

印 刷 (株)ダイキュー



体 育 祭 「騎馬戦」 9月19日

「結集」～輝け！ 熱い思いと感動の瞬間～

体 育 祭



感動の体育祭

三年 荒川 潤

今年の体育祭は、一生の思い出になる感動的なものだった。何といっても完全優勝したところ。その完全優勝は白団のみんなが競技も応援もすっかりやってくれたおかげだと思う。

競技のほとんどが良い成績だった。全校種目の綱引きでかなり得点がとれたこと、男子の騎馬戦は無敵の全勝、これは本当に気持ちよかった。

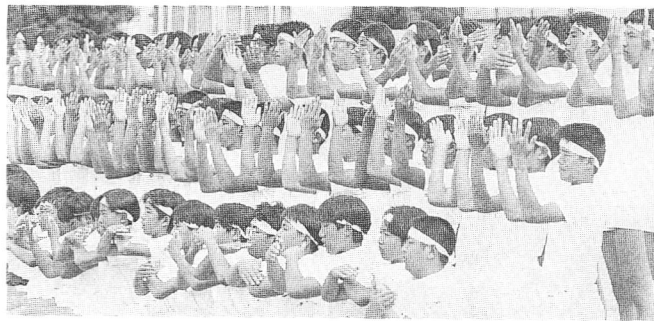
応援合戦も練習の時以上の声を出してくれたし、まとまっていたと思う。

僕は白団みんなのおかげでいい思い出をつくることができた。あらためてお礼を言いたい。「ありがとう。」

満足した体育祭

三年 松永 剛志

今年の体育祭は、僕達三年生にとって最後の体育祭でした。優勝を目標に、八月下旬から、応援練習をがんばってきました。そして、練習から約一ヶ月、体育祭当日がやってきました。



体育祭を終えて

二年 高木千賀子

私は学級委員として、みんなの中心となり体育祭の練習を進めていくことに責任の重さを感じました。

女子種目の練習中、誘導の仕方が悪かったり、いろいろな反省点があったりしましたが、それを改善しながら練習を進めることができました。

この取り組みで学んだことを今後の行事や生活に生かしていきたいと思っています。

先輩の姿を見て

一年 小林真由美

最下位でした。私は、解団式の時、一番最初に覚えた「撃破」をもう一度やろうということになった時は、何も言えませんでした。必死になって、応援歌を教えている先輩や放課後、練習している先輩。そして今日、優勝ただ二文字だけを目指している先輩を思い出しました。

その時、先輩の目から涙が…。その涙の中には、いろいろな思い出が。

体育祭を見学して

栗山 幸子

秋晴れの中、中学校生活最後の体育祭を見学させて頂きました。どの子も、優勝という目標に向かって、一つ一つの競技に精いっぱいぶつかっている姿を見ることができ、とても感動し、応援にも自然と力が入りました。また、応援合戦では、毎年各団で色々工夫されていて、毎日、早朝から、放課後遅くまで練習された成果が良く出ていて感激しました。



～保護者より～

臨海学習



カッター漕艇 (8月4日~5日)

二年 棚橋倫史

一泊二日の臨海学習。この学習を通して、僕は多くのことを学び、体験することができました。

一つには、海という自然のすばらしさを身をもって感じられたことです。少し足をのびさなければ味わえない海を心おきなく楽しめました。

二つめは、カッター漕艇です。皆で一つのことをめざし達成したときのすばらしさ、やり遂げたときの充実感をこの上なく感じた瞬間でした。あの暑い日

に、皆して汗だくになって、疲れていたと思うけど、誰一人それを口には出さず、最後までカッターを力いっぱい漕ぎました。

最後に、本当にこの学習で一番よかったなって思えるのは、この活動の中心としてがんばれたことだと思います。長時間にわたる計画、いやにもなりましたが、その成果が出たときとても大きな満足感が得られました。その時、心の底から思いました。「やってよかった」と。

とても楽しい思い出といえ経験ができた臨海学習でした。

高校一日入学

大垣桜高校を見学して

三年 村田有美

十月十二日木曜日に、大垣桜高校の一日入学へ行きました。内容は、見学・体験実習・作品発表会・音楽発表会などでした。私は、体験実習でマドレーヌ作りをやりました。

一日、とても楽しかったし、進路決定にとっても役に立ったと思います。進路もだいたい決まったので、その目標に向かってがんばっていききたいと思っています。

大垣工業高校に行つて

三年 山内雅裕

第一印象は先輩方にとっても優しく接していただけたことです。先輩が身につけられた知識と技術で、分かりやすく説明をしていただきました。

また、部活やその他の活動もとても活発で、特にアイデアロボットの大会では、優勝・準優勝をしていました。

科を自分で選択し、進路を決めなければならないので、慎重に考えていきたいと思っています。

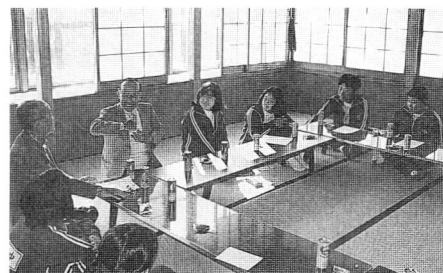
太陽の日 老人と語る会

身近な人との交流を

福東地区三年 高橋理恵

今まで、「お年寄り」を、あまり身近に感じることはありませんでした。しかし、十月にあった老人と語る会では、お年寄りの方から様々なことを学びました。この地区の伝統行事、歴史。特に白川太鼓踊りについては、詳細にしかも、楽しく学ぶことができました。

今までにも、このような取り組みはありましたが、昨年よりもいっそう、地域の方々との交流が深められよい活動でした。



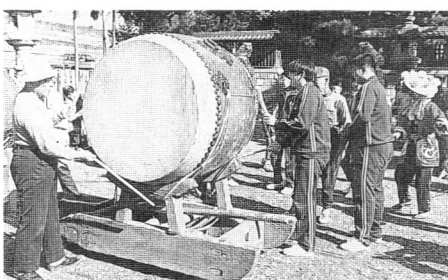
楡 俣 地 区

太陽の日を ふり返って

楡俣地区三年 棚橋誠吾

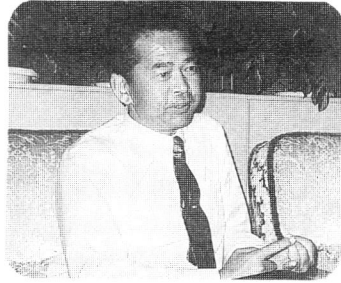
僕は、老人の方々と一緒にゲートボールをやりました。ゲートボールは、今までやったことがなく、どうしていいのかわかりませんでした。老人の方が、初めてやる僕達にも分かりやすく教えて下さったおかげで、とても楽しくできました。

様々なお話しも聞くことができ、短い間でしたが、世代をこえて、みなさんと、有意義な時間を過ごせたと思います。



福 東 地 区

校長先生を囲んで



江木 校長 先生

江木校長先生が輪之内中学校に赴任され、はや半年が過ぎました。そこで、会報委員会では、先生からご覧になった本校の感想や生徒の姿、今問題になっているいじめについて学校の取り組みなどインタビューする特集を組みました。

Q 先生は、どんな中学生でしたか。

A 朝早くから学校へ行って、竹バットで野球するのが楽しかったです。竹バットとテニスボールで野球をしたのですが、結構楽しかったものです。

学校から帰ると、近所の小学生と一緒に遊んでいました。今の子はそういうことがありませんね。

夏休みになると、小学生と一緒に引きつれて川へ泳ぎに行きました。そして、危険なことがあると注意したり、下級生が溺れたりしたら、すぐ助けなければなりません。

春休みなどは、近くの川で魚つりをよくしました。今のような立派な釣り道具はありませんでした。えさは、いつもミミズでしたが、よくつれて楽しかったですね。

Q 輪之内中学校の印象はいかがですか。

A 学校は田園に囲まれ、教育環境として最高に恵まれていましたね。

生徒達は、純朴で素直です。それだけに教育のしがいがあります。私自身、学校へ来て、生徒と接することが楽しみです。それから親さんたちです。学

校で、よく生徒が怪我をしたりしますよね。そんな時、家庭へ連絡しますと、最初に返ってくる言葉が「ご迷惑をおかけします。」なんです。何気ない言葉ですが、なかなか今の時代には聞けません。この地域の親さんたちから、サッとそういう言葉が出るということは、何かすばらしいこの土地柄・人柄があるのではないのでしょうか。そういう言葉を聞くと、私たちも親さんの期待に比べて「がんばらなければ！」と思うんですよ。そういう点で、ここの職員は幸せですよ。

Q 初めての体育祭の印象はいかがでしたか。

A 生徒たちは、夏休み前からよく考え、一生懸命取り組んでくれました。ここまで生徒の手でスムーズに運営してくれると思っはいい力をもっている生徒たちだなと思いました。生徒たちに任せるところは任せれば、やりきっていく力をもっています。

例えば、一学期に生徒会が中心になって「いじめ」の問題に取り組んでくれました。自分たちの問題は、自分たちで解決し

ていく力、つまり、自治能力が育ってきているんです。

体育祭においても、生徒会執行部だけでなく、応援団員やそれぞれの係のリーダーになった子が、自分の責任において仕事をやりきってきました。他の子は、なんとかそれに応えていくとする。応援が一つの例です。去年と比較はできませんが、今年の三年生は、自分たちが一生懸命取り組んでいる姿や手本を示しながら、皆をひっぱっていく姿が見られ、本当にすばらしい体育祭でした。

今年は町長さんをはじめ、全町会議員さんも来ていただきました。親さんたちも二百名以上の方が応援に来ていただきました。

四月当初、PTA活動や授業参観等到大勢出席してくださいとお願ひしました。やはりたくさんの方に来ていただきますと、生徒も職員もやる気が出てきます。ご協力、本当にありがとうございます。

Q 今年度から週五日制が月二回になり、文化祭などの行事がなくなったことについてどのようにお考えですか。

A 確かに時間数も足りないというところもありますが、私は生徒たちに一つの行事をやりきったという成就感や感動体験を味わわせたいのです。そのためには、一つのこと長期間取り組む中で、いろいろな摩擦もあります。皆でつくり上げていく過程を大切にしていきたいのです。最後にこれだけのものをつくり上げたという成就感を味わせてやりたいんです。

それには、あれもこれもと行事をやるよりは、できるだけ行事を精選し、より大きな感動を体験させていきたいという願いを持っています。

今度は合唱祭があります。これも四月からの取り組みですが、歌を通して自分たちの学級の団結を図っていくんです。

長期間取り組んで、はじめてやりきったという充実感が味わえるんです。



Q 今、いろいろ問題になっている「いじめ」についてどのようにお考えですか。

A これまでの教員生活の中で、さまざまな「いじめ」の指導にかかわってきました。この学校へ来てからは、「あだ名をいう」「鉛筆をかくす。」などのいじめがあり、その都度指導しています。これが、長期に亘って継続的に行われると問題です。

七月に、生徒会長が私のところに来て「いじめの防止について生徒会で取り組みたい。」と言ってきました。「それはありがたい。君たちが全校あげて取り組んでくれるならば、先生たちの何十、何百、いや何千倍もの力になる。いじめを防止する力のもとなる。ぜひ、がんばってやってみよう。」と話しました。

そして、生徒会執行部で「いじめの問題」に対して具体的な取り組み方を話し合い、議案に提案し、さらに学級会で話し合い、全校集会でその成果を発表するといった活動を展開してくれました。この取り組みは、本当にすばらしいものでした。

いじめに対しては、早期発見・早期対応が何よりも大切なので

す。教師の力だけでは決して解決しません。生徒たちと一緒に、また親さんたちの協力を得ながら、いろいろな情報を得て、そしてこちらからの情報も提供し、解決していかないとだめですね。よく「昔もいじめはあった。」という人もいますが、昔の「いじめ」とは質的に違います。確かに昔も「いじめ」はありましたが。そういう言葉で「いじめ」を片付けてはだめです。

一番大切なことは、我々教師も、そして生徒達・親さんも「いじめ」に対してもっと敏感になることです。

「いじめ」が起きる原因の一つに、人間関係がうまくやっていないことがあります。先ほど話したように、昔は小さい頃から地域でさまざまな集団がありその中で遊び、ある時にはけんかをすることも度々あった。その中によりリーダーがいて、けんかをすれば止めさせ、水泳で溺れかけた子を助け、真剣勝負でした。また、小さい子は上級生の言うことに従い、自分も大きくなったら先輩のようになろうと思っていた。今の子どもにはそういった体験が少ないから、人間関係がうまくや

いか分らないんです。そこで、「いじめ」が起きたとき、生徒の間で解決できずにそのままになってしまっている。

そこで、よりよい人間関係づくりをしていくことが、学校生活の中で非常に大切になってくるのです。「自分たちの問題は、自分たちで解決していくんだ。」という生徒会や学級の取り組み、そういった活動をどんどんすすめていきたいと思っています。



校長室にて（9月26日）

Q 体罰についてどのようにお考えですか。

A 十年前になりますが、岐阜県で体罰事件がありました。あの時に、緊急検討会議が開催され、岐阜県教育の名誉挽回のため、全県あげて「地域に開かれた学校」「活力あふれる学校」「規律ある学校」をめざしてきました。その結果、大きな成果をあげて、現在にいたっています。

体罰は、学校教育法で「……生徒に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。」と規定しています。

よく親さんの中に、「殴ろうと何しようというから、叱ってください。」と言われるが、そんなこと言われてもできません。

生徒指導法のまずが、体罰という形になるので、絶えず指導方法の研修に努めていきたいと思っています。

Q 学校目標達成のために、どんなことに力を入れてみますか。

A 学校の教育目標として「ひとりでできる生徒・自ら考え、正しく判断して主体的に行動できる生徒」を、掲げています。

要するに、生徒たちが「いじめ」の問題に取り組んだように自分たちの問題を自分たちで解決していける生徒をめざしています。また、体育祭でも、自分たちで計画し、実践してきた姿を私たちはめざしています。

こうした姿が、授業や日常生活の中でもみられ、自分自身・学校生活をより一層向上させていこうと、意欲に満ちた生徒を育てていきたいと思っています。

輪之内中学校の生徒は、そういった点で指導のしがいがありますね。

行政職から中学校現場に復帰され、より新鮮な目で輪之内中学校の印象などを語っていただきました。

先生の温かい人柄と豊富な経験を生かし、これからの輪之内中学校に新しい伝統を築いていただけるものと確信しました。



ALTとして

Hello to all students and parents of Wanouchi! I am most happy and thrilled to have the opportunity to work with the students of Wanouchi Junior High School and the neighboring schools of NiKi, Oyabu and Fukuzuka.

My experience so far in Wanouchi has been immensely rewarding and enjoyable, and I see if becoming only better and better as the days go by.

My impression of Wanouchi students and teachers is very positive. The students especially have been energetic Welcoming and enthusiastic, For my part, I sincerely state that I will do the best with in my power to positively in fluence the students and populace I will be working with.

Thank you for this opportunity!

John Bell



ベル・ジョルダン

輪之内の生徒と保護者の皆様、こんにちは。

私は、輪之内中学校の生徒と近隣の仁木、大藪、福東の小学校の児童達と一緒に勉強する機会を得て、とてもうれしく、また、期待に胸をふくらませていきます。

現在、輪之内では非常にやり甲斐のある、楽しい経験をしております、これは日が経つにつれてもっとよくなる一方だろうと思っています。

輪之内の生徒と先生方からは非常に積極的な印象を受けました。特に生徒達はエネルギーで、私を歓迎してくれ、熱心です。私としては、一緒に過ごす生徒と町の皆さんに力の限り頑張つて、お役に立つように、尽くすつもりです。

私に、このような機会を与えてくださったことを感謝します。



調子外れの声に苦笑しながら、衣斐さんの発声練習が始まりました。聞き覚えのある歌を歌う楽しいひと時。先生方を含めた約五十名程のお父さん、お母さん方の素晴らしい合唱に、ただ脱帽です。決められた時間に集まることは大変です。でも、その時間の素晴らしい。どうですか。あなたも参加しませんか。

PTA コーラス

ただいま

特訓中!!

安田千穂

輪之内町

母親委員会

合同研修会

松崎直美

裁判所の傍聴席で、今までテレビでしか見たことのない私にとって、被告人が腰縄、手錠という姿に思わず息をのみました。彼の母親が証人席で沈痛な面持ちでいる姿に、もし自分の子どもが人様に迷惑をかけて裁判になったらと思ひ、心が痛みます。この研修会で、社会に迷惑をかけず自立できる人になってほしいと、改めて学び、考えさせられました。



本号は、生徒の取り組みが素晴らしいかった体育祭と校長先生の教育に対するお考えのインタビューを特集に組み、より一層の内容の充実を図り、前号より二面増やしてお届けします。少しでも学校の様子がわかって頂ければ幸いです。皆様方の御感想・御意見をお聞かせ下さい。

— 会報委員一同 —